

# フードバンクかながわ 通信

「もったいない」を「分かち合い」「ありがとう」へ



## 寄付金の税制優遇

個人：  
所得税と住民税

法人：  
賛助会費と寄贈食品も  
対象

### 所得税

所得控除 = 【所得金額 - (年間寄付額 - 2000円)】 × 所得控除  
税額控除 = 【年間寄付額 - 2000円】 × 0.4 (40%)

※課税所得1800万円以下の場合、税額控除がお得

### 住民税

県民税 政令市在住 【年間寄付額 - 2000円】 × 0.02 (2%)  
政令市以外 在住 【年間寄付額 - 2000円】 × 0.04 (4%)  
市町村民税 政令市在住 【年間寄付額 - 2000円】 × 0.08 (8%)  
政令市以外 在住 【年間寄付額 - 2000円】 × 0.06 (6%)  
(条例により川崎市・横須賀市・伊勢原市・座間市は対象外)

税制優遇対象認定の公益法人・社会福祉法人・認定NPO法人等への  
寄付の合算で、**確定申告により**税制優遇を受けることができます。  
詳細は、フードバンクかながわ、税務署までお問い合わせください。

寄付金・賛助会費は、  
通常の限度額に加えて、  
別枠で損金算入限度額  
が設定される優遇措置  
があります。  
寄贈食品は、フードバン  
クへの運搬費を含め、全  
額(帳簿簿価)損金  
算入可能です。

例えば、横浜市在住で、  
年間寄付額1万円の  
人はなんと4000円が  
戻ります。

### 〈耳より情報〉

**労金口座への  
振り込み手数料が  
ゼロ円に！**

中央労金のご協力で振込  
手数料が無料になります。  
窓口で「フードバンクかなが  
わへの振り込み」専用紙を  
もらってください。

中央労金 杉田支店 店番  
337 普通160134  
口座名義人  
フードバンクカナガワ

## フードバンクに関する政策研究会 第2回報告

2019年9月12日 16:00~17:30

テーマ: 食品ロス削減推進法施行への横浜市の対応

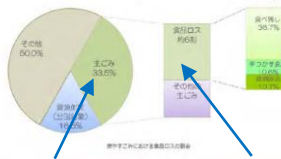
講師: 横浜市資源循環局3R推進課 係長

井手尾剛史さん

食品ロス削減推進法は、環境負荷の少ない経済社会シ  
ステム構築を目指し、10月より施行。横浜市では、201  
5年度食品ロスは11万トン。燃やすごみの6割が食品ロス  
で、内訳は食べ残し66千トン、手つかず食品2万トン過剰  
除去2万トンと推計される。2018~2021年を3R夢(スリ  
ム)プラン推進計画で2015年度比20%削減を目標に取り  
組んでいる。今後身近に食品を持ち込める環境づくりと、認  
知度を向上のために、フードバンク・フードライブ活動を広  
げ、食品ロス削減を進める方向と話した。

### ヨコハマ3R夢プラン推進計画(2018~2021)

【目標】  
家庭から出され  
る食品ロス20%  
以上削減  
(2015年度比)



生ごみ34%、うち6割が食品ロス

資源循環局×  
ヨーカドーの  
フードライブは  
裏面に記事。年  
明けにはイオン  
金沢区内2店舗  
でも実施予定。

### 相模原市子ども食堂関係団体連絡会に参加

10月8日相模原市環境情報センターで開催。相模原市主催。  
相模原市には31団体の子ども食堂がある。子ども食堂・無料  
学習支援は子どもの居場所づくりとして、市社協と連携し活  
動しやすい環境づくりをめざす。

市は後援名義を積極的に行い、保険適用・広報活動を支  
援。市社協は子ども健やか育成事業の助成(例:事業立ち  
上げ時10万円以内)、生活困窮者支援団体応援事業(例:  
就労準備の場月2回開催で年間30万円以内、フードバンク  
30万円以内)等の助成により支援している。

### 【今月の理事メッセージ】

半澤彰浩 常務理事

(生活クラブ生協専務理事)

関係を結び直すことへ



熊本県水俣市を訪れる機会がありました。生活クラブと  
水俣のつながりは水俣病患者の方たちがつくった甘夏みか  
んの取り組みで40年になります。水俣市では、1990年3  
月から「環境創造みなまた推進事業」が展開されました。  
「水俣病の犠牲を無駄にしないまちづくり」について話し  
合いを行った結果、事業には環境が破壊された町だからこ  
そ、環境で町をたて直す「もやい直し運動」であるという  
意味が含まれました。

「もやい」とは、船と船をつなぎとめることを指し、協  
働で事をするという意味の地元の言葉です。お金だけを価  
値とする行き過ぎた資本主義経済で分断され壊れた人と人  
の関係、自然との関係をどう結び直していくのかが私たち  
の実践で問われていると思います。

フードバンクかながわを通じてつくられた分断の関係性  
を結び直し、人の関係性を基本としたまちづくりをすす  
めていきたい。まず、ボランティア参加と地域で困っている人  
を手助けする組織とのネットワークをより広げていきたい  
と考えています。



写真は第2回政策研究会



QRで  
ホーム  
ページ  
へ

お問い合わせ

公益社団 フードバンクかながわ [info@fb-kanagawa.com](mailto:info@fb-kanagawa.com)  
236-0051 横浜市金沢区富岡東2-4-45  
Tel. 045-349-5803

発行責任: 藤田 誠

# 基本情報

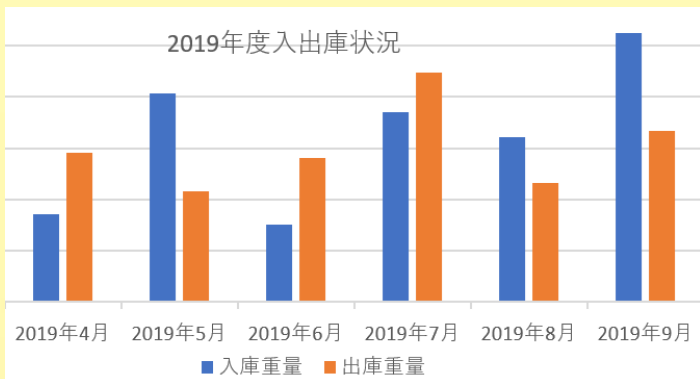
2019年度の累計  
2019/10/24現在

寄贈された食品  
49トン 12,5万点  
提供した食品  
45トン 13,4万点

食品寄贈締結団体 61団体  
食品提供締結団体 126団体  
行政・社協 41団体  
市民団体（子ども食堂含） 85団体

賛助会員寄付状況  
団体会員64団体 324口  
324万円  
個人会員 167名 379口  
379千円  
寄付金累計6,461,253円

(2018年度実績 寄贈46トン29万点・提供40トン25万点 寄付金6,078,734円)



## 9月単月で10トン超の寄贈がありました。

フードドライブでの寄贈が大幅増えた事が要因ですが、労働組合関係の働き掛け等により、JFE物流京浜、225kg。活動の広がりによる社会的な認知向上から某銀行横浜支店23kgの寄贈がありました。

特に、台風の被害にあった金沢区幸浦の卸企業一神(株)から台風被害あった商品の廃棄に際して、横浜市資源循環局からのアドバイスを受けてフードバンクかながわに8125点、2864.33kgの寄贈がありました。



左・中：外箱の中は何ともないが商品にはならず、海水をかぶって廃棄される食品。2.8トンいただきました。市社協の紹介でボランティアセンターから延べ18人が仕分け作業に参加右：仕分け後。

## 仕分けボランティアがやってきました

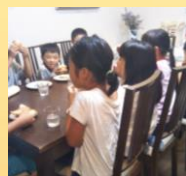
フードドライブ品の寄贈増加に伴い、横浜市社協からの支援として職員1人の派遣と金沢区社協からボランティア延べ18人の派遣がありました。また、生活クラブから金沢区在住の組合員を中心に22人、東海大学の学生4人、ユーコープ2名のボランティア参加がありました。



ボランティアの仕分け

## 新たな提供先広がる！

障害者施設みらいあいの家、藤沢市社協との連携活動から湘南大庭地区社協(子ども食堂)。また子ども食堂・居場所作りとしてコミュニティカフェ6丁目クラブ、ワーカーズコープ小田原・足柄、よってけし、鎌倉すこやか会、さろんどて、あさみぞふれあい夢広場、自立支援事業所一休等への提供を開始しました。写真は強力粉でパンを作った6丁目クラブと鎌倉すこやか会。



## 横浜市とヨーカドーのタイアップ活動にフードバンクかながわも参加

横浜市資源循環局は、セブン&アイグループと連携し、市内3カ所のヨーカドーでフードドライブを実施。洋光台店のフードドライブには、フードバンクかながわが協力し、112点21kgの市民からの寄付がありました。横浜市は近隣3小学校、1中学校に事前チラシを配布。このチラシを見て参加した親子もありました。4割の方はフードドライブを今回初めて知った市民でした。



横浜市生協運営協会のみなさん



福島瑞穂参院議員

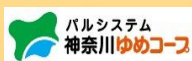
牧山ひろえ参院議員

学習会参加者  
2000名を突破

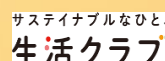
## 3生協のフードドライブ中間報告(9/1~9/30) 7,796個2,127kg



3,679個 981kg



3,022個 826kg



1,095個 320kg

フードドライブ  
10/23生協大会  
10/26ヨコハマ  
waiwaiフェスタ